

としょかんNEWS 第25号



2007年12月17日
湘北短期大学図書館

第3回「読書ノート大賞」発表！

図書館に寄せられた読書ノートの中から優秀作品を決める「読書ノート大賞」を発表します！

第3回「読書ノート大賞」は、2007年1～9月に実施した「読書ノートキャンペーン」への応募作品が対象です。図書館による選考の結果、下記の6作品が大賞に選ばれました。受賞者の皆さんには図書カードが贈られます。参加者の皆さん全員にも参加賞としておしゃれグッズまたはステーションナリーをプレゼント！どうぞふるってご参加ください。

第3回「読書ノート大賞」受賞作品

- ★ 金賞 『夜のピクニック』
- ☆ 銀賞 『明日の記憶』
- ◆ 銅賞 『今日は死ぬのにもってこいの日』
『ファスト風土化する日本』
- ◇ 特別賞 『インストール』
『自分の適職がわからない時に読む本』

おめでとう！



「第3回 読書ノート大賞」(冊子)で、今回ノミネートされた作品をすべてご紹介しています。そちらもあわせて、ご覧ください。なお、読書ノートは、図書館のブログ「きょうの読書ノート」でも公開しています(学内のみ)。

たくさん本を読んでポイントを集めよう

● <読書ノート>をポイントに交換するには・・・

- ① 6号館インターネットカフェで湘北ポイントシステムに登録してください。
- ② 図書館で配布している<読書ノート>に読んだ本の感想を記入してください。
- ③ 1シート(6冊)記入したら、カウンターで提示してください。120ポイント付与します。
- ④ 貯まったポイントは、1号館1階の引き換え機で各種チケットに交換できます。



● ポイントの対象になる本については、下の表で確認してください。

対象	対象外
・文芸書 (児童文学・詩集・名言集を含む)	・マンガ ・絵本
・実用書	・雑誌 ・写真集
・学術・専門書	・カタログ ・占いの本
・文庫	・資格試験 ・図鑑/事典
・新書	・料理の本 ・旅行ガイド
	・手芸/工作/スタイルブック
	・イラスト/キャラクターブック

「図書館でわくわくワーク」実施

● 高大連携土曜日特別授業を図書館で行いました！

リベラルアーツセンターと図書館がコラボレーション！ 高大連携プログラム後期の土曜日特別授業は「図書館でわくわくワーク」というテーマで、下記のとおり図書館で実施いたしました。第1回目は都合により中止となってしまいましたが、参加延べ人数は43名、たくさんの高校生にご参加いただきました。

- 第1回目 11月10日(土) 「図書館で声を出してみよう！」総合ビジネス学科 伊藤 善隆
第2回目 11月17日(土) 「真実にたどり着けるか？ 情報検索のワーク」情報メディア学科 小田井 圭
第3回目 12月1日(土) 「絵本の中の私」保育学科 實吉 明子
第4回目 12月8日(土) 「新感覚インテリア入門-自分好みを知ろう！」生活プロデュース学科 水上 裕

● 実施報告！

第2回目「真実にたどり着けるか？ 情報検索のワーク」

この日のテーマは、WEB上の情報と図書館の資料から真実を探し出そうというもの。3つのグループに分かれ、図書館のPCを使用し、それぞれの検索課題に取り組みました。「インターネットの検索には慣れているけれど、図書館の本の検索は初めて」という高校生たちを図書館スタッフがサポート。試行錯誤の末に見つけ出した本とWEB上の情報とを熱心に見比べていました。

最後にグループごとに調べた結果を発表。さまざまな発見が報告され、高校生たちは真剣に耳を傾けていました。



第3回目「絵本の中の私」

この日のテーマは、自分のところの中にある世界を絵本にしてみようというもの。授業は手あそびからスタート。受講生がお互いに手で挨拶をしてコミュニケーションをとりました。講師による、絵本「あおくんときいろちゃん」の読み聞かせのあと、受講生も絵本の製作にチャレンジ。自分でストーリーを考え、折り紙をちぎってキャラクターを作り、世界にひとつだけのオリジナル絵本を作りあげました。

最後に完成した絵本を講師が紹介。受講生から「かわいい！」という歓声が上がりました。



第4回目「新感覚インテリア入門-自分好みを知ろう！」

この日のテーマは、自分の好きなインテリアを図書や雑誌の中から選んで、そのイメージを1シートの中で表現しようというもの。講師が過去に携わった建築「同世代の橋」の紹介のあと、図書館にある本や雑誌の中から、自分好みのインテリア探しをスタート。キーワードは、椅子、美術館、北欧や和テイストのインテリアなど。選んだ写真を大きな閲覧席に並べ、時間を忘れて作業に没頭している姿が見られました。

最後に全体のレイアウトを整え、個性あふれる作品を完成させました。



図書館って、静かに本を読むだけの場所じゃないんだ！
みなさんも自分なりに図書館を活用してみてくださいね☆

